

ふしぎがいっぱい（４年）「夏になると・・・？」利用案

筑波大学附属小学校 佐々木 昭弘

【単元のねらい】

夏の動植物の成長や活動を、春と比較しながら調べる活動を通して、気温の変化と関係付けて考えることができるようにする。

【番組の利用にあたって】

本利用案においては、子どもたちに夏の動植物の成長や活動への興味・関心を高めるとともに、春の動植物の成長や活動と比較するための視点を明確にするために、単元導入部分での視聴を設定した。また、これまでの学習を振り返るとともに、夏から秋にかけて動植物の様子がどのように変化していくかを予想させ、今後の観察への見通しをもたせるために終末部分での視聴も設定した。

○：学習活動 ◇：支援 ◆：番組 ■：クリップ ▲：ワークシート

次	時	学習活動	教師の支援
第1次 夏の生き物のようすを調べよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ○夏の動物や植物たちの様子について話し合う。 ・葉の数がすごく多くなったよ。 ・緑色も濃くなったね。 ・春には見られなかった動物もたくさん見られるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇春に観察した動植物の様子と比較しながら、何がどのように変化したのかを発表させていく。 ◇春に観察した時の活動を想起させながら、観察の視点を明確にしていく。
		<p>夏になって、植物や動物たちの様子は夏と比べてどのように変わっただろうか？</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ○『夏になると・・・？』を視聴する。 ○夏の森や校庭の動植物の様子を観察する計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆『夏になると・・・？』
	2 3	<p>観 察</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夏の森や校庭に出かけ、植物や動物たちの様子を観察し、ワークシートに記録する。 ・どんな花が咲いているかな？ ・どんな植物があるかな？ ・どんな昆虫がいるかな？ ○観察した結果を確認し、夏になって春と比べて何がどのように変化したかをまとめる。 ・昆虫の数も増えてきたね。 ・種類も多いよ。 ・いろんな芽が出ていた。 ・枝からたくさん葉が出て来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇必要に応じて、下のクリップで観察したことを確かめさせる。 ■夏のぞう木林のじゅえきとこん虫 ■トンボの産卵 ■夏にさく花とハチ ■クマゼミの羽化 ◇子どもたちが観察した事実をもとに、春と比べて「観察できる動植物の種類や数が多くなったこと」「活発に活動するようになったこと」に集約できるようにする。
		<p>夏になって、春と比べると植物や動物たちの種類や数は多くなり、さらに活発に活動するようになった。</p>	

第2次 植物の育ちかたを調べよう	4	○へちまを観察し、春の時の育ち方との違いについて話し合う。	▲へちまのかんさつカード1～2
	5	・葉っぱの数も、どんどん増えているよ。 ・背の高さも、すごく伸びているような気がする。	▲へちまのかんさつグラフ ▲へちまのかんさつ表 ■夏のへちま
	夏になってへちまがよく育つようになったのは、なぜだろうか？		
	○育ち方が変わった理由について話し合う。 ・温度が高くなったから？ ・太陽の日差しも強くなってきたよね。 ○これまでの観察記録を表やグラフにまとめ、温度との関係について話し合う。	◇温度との関係について子どもたちが指摘できない実態の場合は、クリップを活用して情報を与え、今後の観察で確かめる展開とする。 ■へちまの成長と温度 ◇へちまの成長の変化と温度の変化の関係がわかるように、観察してきた記録を表やグラフにまとめさせる。 ■へちまの成長を記録する方法 ■へちまの成長どこまでのびる？	
夏になってへちまがよく育つようになったのは、温度が高くなったからである。			
○『夏になると・・・？』を視聴する。 ○秋に近づくにつれて、動植物の様子がどのように変化していくか予想する。	◆『夏になると・・・？』 ◇観察した動植物が、夏から秋にかけてどのような変化が見られるか見通しを持たせ、今後の学習への意欲を高める。 ■サクラの変化 春・夏・秋		